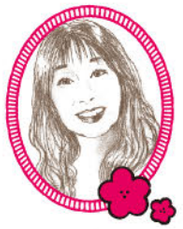
女子的考古学のススメ

きゅーはく女子考古部

穴場的 Dazaifu Aruki 太宰府あるき

太宰府の歴史ガイドブック『麗し太宰府』の著者・前野りりえさんに「え、こんなとこあったの？」という太宰府の穴場的名所を教えてもらいました！大宰府政庁や太宰府天満宮が出現するもっともっと前、古代の大宰府を感じられるスポットです♥



ナビゲーター
前野りりえ
『麗し太宰府』著者

1 陣ノ尾（じんお）1号墳

丸いイヤリングも出土した丘の上の古墳

古墳が少ない太宰府。
陣ノ尾古墳は古墳時代の終わりに造られた古墳です。横穴式石室がある円墳で鉄製のやじりやイヤリングなどが出土しました。

コラム まだまだある！注目スポット

◆石穴神社の奥の院
古代の神秘的な自然崇拝の場

巨石の重なり全体が、古代から神が降り立つ磐座（いわくら）とされてきました。最奥の穴が奥の院。山の緑と巨石が重なるこの場所は、自然を畏敬した気持ちが伝わってくる神秘的スポット。

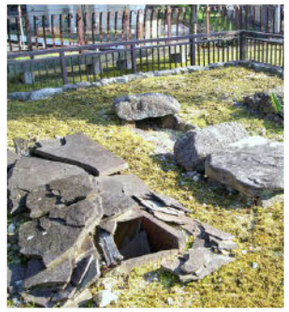
◆田中の森
神話の時代の人、田中熊別（くまわけ）のお墓

神武天皇は、古事記や日本書紀に登場する初代天皇。ここは、その神武天皇に仕えた田中熊別の墓といわれています。神武天皇が四王寺山に仮宮を建てた時に警護を命じたのだそう。

2 文化ふれあい館庭の箱式石棺

箱式石棺に眠っていたのはだれ？

文化ふれあい館の中庭に太宰府市内から出土した古墳時代の３基の箱式石棺が展示されています。右が宮ノ本遺跡7号墳(向佐野)、真ん中が成屋形遺跡（水城）、左が宮ノ本遺跡 6 号墳のもの。当時このあたりを支配していた人たちが、この中に眠っていたんですね。



①陣ノ尾１号墳
住所　福岡県太宰府市国分２

②太宰府市文化ふれあい館
住所　福岡県太宰府市国分 4-9-1
TEL 092-928-0800　時間　9:00～17:00
休館日　月曜　（祝日の場合は最初の平日）
入場料　無料

田中の森
住所　福岡県太宰府市都府楼南１

石穴神社の奥の院
住所　福岡県太宰府市石坂 2-13-1

考古女子必見！ きゅーはく巡りのススメ

文化交流展示室には考古資料の展示がたくさん！年間300回の展示替えがあるので、来るたびに新しい発見があるよ！特にこの３つがおススメ！

①水城の木樋（もくひ）（無料ゾーン）

太宰府の史跡の代表格、国の特別史跡である水城跡から出土した木樋（古代の導水管）。水城は約1350年前に百済の技術を用いて作られました。どのようにして作られたかは模型でチェック！

②甕棺の模型

土で作られた甕の形の棺。二つを組み合わせて使われていた。中はどうなっていたのか、何が入れられていたのかがよくわかる模型。

③装飾古墳バーチャルシアター

古墳女子にオススメなのがコレ。なかなか入れない内部の構造がわかるほか、文様の謎がバーチャル映像で明らかに ?!

グッズはコレ

きゅーはくオリジナル野帳
考古学者必須アイテム。装飾古墳の模様をあしらったオリジナルの野帳は378円（税込）、1階ミュージアムショップで！

九州国立博物館DATA

○住所　福岡県太宰府市石坂 4-7-2
○TEL　050-5542-8600（NTTハローダイヤル）
○観覧料（文化交流展示室）
大人 430 円（220円）、大学生　130 円（70円）
- （ ）内は有料の方が20名以上の場合の団体料金。
- 障害者手帳等をご持参の方およびその介護者１名、高校生以下、18 歳未満、70歳以上、キャンパスメンバーズ会員は無料です。展示室入口で証明書をご提示ください。詳しくはHPでご確認ください。
- 特別展は別料金。

○開館時間　9:30～17:00（入館は 16:30 まで）
- 開館時間は変更されることがあります。

○休館日　毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）

お待ちしています！

SCHEDULE
AND
CONTENTS

目次

P.1..... きゅーはく女子考古部とは？
P.2..... 年間スケジュール
P.3..... 7月　きゅーはく女子考古部、初顔合わせ！
　　8月　考古学の基本を学んで、九博を知る
P.4..... 9月　女子的古墳測量体験＋土器講座
P.5..... 10月 女子的博多の遺跡巡り
P.7..... 11月 女子的古代（風）料理を食べよう！
P.9..... 12月 女子的貫頭衣＆アクセサリー作り
P.11 ..... 1月　女子的チョコ作り
P.13 ..... 2月　女子的土器作り
P.15 ..... 番外編　DAZAIFU MEGURI
P.17 ..... 貫頭衣コレクション
P.19 ..... 私と考古学
P.21 ..... 古代食レシピ
P.22 ..... 恋する考古学　編集後記
穴場的太宰府あるき
きゅーはく巡りのススメ

きゅーはく女子考古部年間スケジュール

7月	オリエンテーション
8月	バックヤードツアー
9月	古墳測量体験＆装飾古墳館見学＆ディープな古墳巡り
10月	博多の遺跡巡り
11月	古代料理＆キャンプ体験
12月	古代服作り
1月	遺跡チョコ作り
2月	土器作り
3月	きゅーはく女子考古部サミット

Kyuhaku Girls Archaeological Club

きゅーはく女子考古部とは？

九州国立博物館が考古好きの女子のために発足した部活です。
30名の女子が毎月1回楽しく活動しています。
活動の内容は、古墳めぐりや古代食作りなど、部員がやりたいことを決めて実施。わからない事はきゅーはくの考古担当研究員が優しく教えます。

毎月の活動報告など詳しくは九博ブログで！
http://kyuhaku.jugem.jp/

岸本 圭 顧問より一言

部員たちの豊かな発想力や行動力に圧倒されてこちらもたいへん刺激になりました。
こうした力が考古学の原動力です！

7月

テーマ

そして伝説は始まった…
きゅーはく女子考古部、初顔合わせ！

夏も本番を迎えた7月吉日。九博の研修室に集まったきゅーはく女子考古部メンバー。皆さんおしゃれな今時の女性という印象ですが、よく見ると前方後円墳のアクセサリーを身に付けていたり、自己紹介で答えた「好きな遺跡」がやたらマニアックだったり…。マネージャーも「みずら」を結っているあたり、すでにカオスな空気感が漂っていました。

ひとクセもふたクセもありそうな女性陣を前に、唯一の男性となった岸本顧問の困ったような笑顔が印象的なオリエンテーションでした。

1 九博のこれまでの考古学系イベントなどを紹介。マネージャーのノリノリな弥生人姿に親近感。

2 部員の自己紹介。緊張気味ながらも、掘り下げるととんでもないものが出てきそう。

3 マネージャーの「自毛でみずら」を見て挑戦する女子が続出。髪を伸ばそうと決意した人も。

4 部長と副部長を決めて、今後の活動会議。古墳を作りたい、など、アイデアと妄想がいい感じに混じった企画案が噴出！

JULY

8月

テーマ

九博バックヤードツアー
考古学の基本を学んで、九博を知る

早くも2回目となった部活動。まずは、前回記入したプロフィールを元にマネージャーの力作・写真付き部員名簿が配布されました。なんとな〜く名前と顔が一致してきたところで班分け。自称人見知りが多い考古女子ですが、さすがに同好の士。どんな企画にしようかと、各班で盛り上がっていたよう。

その後、マネージャーが「まず、九博を知って欲しい」と企画した、「文化交流展示室」とバックヤードツアーへ出発。

しかも、今回は女子考古部特別バージョン！裏の裏まで見ちゃいました。

バックヤードを案内する今井涼子副顧問

1 最初に今後の活動を決める大事な班分け。5班に分かれて、それぞれ活動内容を打ち合わせ。

2 お待ちかねの考古学講座。展示室で実物を見ながら説明を聞くというなんとも豪華なシチュエーション！

3 極め付けに、「女子考古部スペシャル版バックヤードツアー」を体験。普段は入ることができない施設に入れて感激！

AUGUST

9月

テーマ

いよいよ本格的な活動スタート！
女子的古墳測量体験＋土器講座

集合

JR桂川（けいせん）駅集合。のどかな田園地帯をテクテク。

1 天神山（てんじんやま）古墳

ここはまだまだ謎が多い遺跡だそう。チームワークが試される測量作業に悪戦苦闘。

2 ホーケントウ古墳

仏教の供養塔「宝篋印塔（ほうきょういんとう）」がある事からこの名が付いたとか。一見、普通の丘ですが、古代のロマンを感じます。

3 特別史跡 王塚（おうづか）古墳

4 王塚装飾古墳館

本物の土器を使った考古学講座。弥生時代の古いものから新しいものまで、並べて見るとその違いは明らか。大きな甕棺（かめかん）も見せてもらい大満足！

5 金毘羅山（こんびらやま）古墳

遠賀川流域で最古級、最大級の前方後円墳とされる金比羅山古墳も見学。

今回の舞台はコチラ！

王塚（おうづか）装飾古墳館（そうしょくこふんかん）

王塚古墳は6世紀中ごろに造られたとされる前方後円墳。第一級の装飾古墳として、国の特別史跡に指定されている。王塚古墳築造当時の石室の再現を中心に、全国の代表的な装飾古墳などを紹介。

◇住所
福岡県嘉穂郡桂川町寿命 376

◇TEL
0948 - 65 - 2900

◇時間
9：00〜16：30

◇休み
月曜

◇入場料
大人 320 円、中高生 160 円、小学生 100 円

◇URL
http://www.town.keisen.fukuoka.jp/ouzuka/index.html

SEPTEMBER

HAKATA NO ISEKI MEGURI

10月 テーマ 女子的博多の遺跡巡り

集合は板付遺跡弥生館前。まずは館の職員の方から板付遺跡発見と調査の歴史のレクチャーを受ける。

顧問の説明を聞きながら館内を見学。貫頭衣を着て古代の道具を体験。

舞いぎり式や弓ぎり式などいろいろな方法の「火おこし」に挑戦！

館内にある鍬や土器はお触り OK!
杵や臼による脱穀にもチャレンジ！

古代米の田んぼを見つつ移動。板付遺跡だけに貫頭衣姿がすっかり板に付いてきた！？

ここで野外どんぐり講座開講。おやつは「マテバシイ」と「スダジイ」でワイルドに。

竪穴式住居にて、当時の生活について再現ドラマ「渡る世間は土器ばかり」を熱演！

引き続き、金隈遺跡展示館へ GO！以前見た「甕棺」を直で見て感激！その後は、質疑応答タイム。

今回の舞台はコチラ！

板付遺跡弥生館（いたづけいせきやよいかん）

日本最古の稲作集落跡。出土品展示に加え、火おこし体験などもできる。

◇住所
福岡市博多区板付 3-21-1
◇TEL
092-592-4936
◇時間
9：00～17：00
※入園は 30 分前
◇休み
年末年始
◇入場料
無料

金隈遺跡展示館（かねのくまいせきてんじかん）

弥生時代の共同墓地遺跡。100 基以上の甕棺が当時の姿のまま見学できる。

◇住所
福岡市博多区金の隈 1-39-52
◇TEL
092-503-5484
◇時間
9：00～17：00
※入園は 30 分前
◇休み
年末年始
◇入場料
無料

部員のコメント

●こだわった点や工夫した点

最初の活動なので、できるだけ誰でも参加しやすく、分かりやすい内容にしたいと思いました。

●苦労した点は？

最初の方の活動のため、予備知識が無く、どの様に動いていいかも分からなかったです。

●実施後の感想は？

私自身、初めての場所だったのでかなり楽しめました。他の方も喜んでもらえたようです。

●家族や友人などの反応はいかがでしたか？

当日の写真を見た娘から、かなり質問攻めにあったので、興味は湧いたみたいです（笑）

・どんぐりの選び方・どんぐりを探そう！

●虫に注意！

どんぐりには虫が入っていることも。
水に入れて、浮かんでくるものは虫食いどんぐり。

●歴史公園が狙い目！

どんぐり探しは「～古代の森」や「古墳公園」などの歴史公園や史跡に行くと見つけやすい。山は木が多いので探すのが大変。

アク抜きせずに食べられるどんぐり

マテバシイ

おしりが凹んでいるのが特徴。

スダジイ

小さくて黒っぽい。
とんがりと衣装が特徴。
どんぐり界トップクラスのおいしさ！

メンバー

班長 大嶌洋子
酒村ゆずみ
猪原恵美

副班長 大畠祐子
前野りりえ
猪原和花

KODAI RYOURI WO TABEYOU

11月 テーマ 女子的古代(風)料理を食べよう！

今回の舞台はコチラ！

平塚川添遺跡

弥生時代の濠を巡らせた集落跡で国指定史跡。公園内には当時の住居や倉庫が再現されており、見学も可能。

◇住所
福岡県朝倉市平塚 444-4
平塚川添遺跡公園

◇TEL
0946-21-7966
（平塚川添遺跡公園）
0946-22-0001
（朝倉市教育部文化課）

◇時間
6月～8月
9：00～18：30
9月～5月
9：30～16：30
※入園は30分前まで

◇休み
毎週月曜

◇入場料
無料

どんぐり粉、すりおろした山芋、ひき肉、くるみ、卵を混ぜて焼く。

昆布で出汁をとり、大根やサトイモなどの野菜を角切りに。ひたすら煮込む。かなり薄味なので、塩を加えて調整。

セリなどの野草や食器代わりに使うハラン（大判の葉っぱ）、飯盒がわりの竹を採取。

まずは、石を組んで炉を設営。火おこし器で火をおこす。

食後は、メンバーの平井姉妹お手製のおやつのどんぐりクッキーをいただいたり、弓矢飛ばしに挑戦！

新鮮な猪肉（女子考古部部長がさばいた！）やキノコなども焼いて完成。各レシピと材料はP21を見てね！

フタから水蒸気が上がれば完成。鉈（なた）で竹を割って、お米を取り出す。

切り出した竹は、節の中央に穴を開け、古代米を入れる。竹は一節で2合が目安。フタをして火にくべる。

部員のコメント

●こだわった点や工夫した点

古代の食事の再現。短時間で調理しやすく、現代人の味覚にも合うものを考えました。

●苦労した点は？

どんぐり拾いは量が拾えず苦労しましたが、食料調達の苦労を身にしみて感じました。

●実施後の感想は？

本物の土器を使って、食べて。古代の生活を少し覗くことができたのではないでしょうか。

●家族や友人などの反応はいかがでしたか？

家族からは大変ね～と（笑）。どんぐりクッキーなどは好評でした♪

当日用意した道具はコチラ！

- ☑ 米一合（一人）
- ☑ 調味料
- ☑ ふきん
- ☑ 軍手
- ☑ おやつ
- ☑ キノコや猪肉など（焼いて食べたいもの）

そのほか、土器類や火おこしの道具、貫頭衣、弓矢などは、今回の活動のために特別にお借りしました。

火おこしの方法 ～舞いぎり編～

① 火おこし器（写真）の先端に乾燥させたセイタカアワダチソウを付け、下に置いた板の穴にセット。死にもの狂いで腕を上下させる。

麻ひもをほぐしたもの

② 摩擦で煙が上がって、黒いおがくずが出てきたら、その粉を燃えやすい素材に移す。

③ 空気を送り込み、火を大きくして落ち葉や細い枝などに種火を移す。

メンバー

班長 平井うらか
平井さくら
平井すみれ
田川麻衣
今橋美紅
小柳綾夏

12月

テーマ

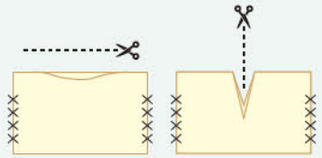
女子的貫頭衣（かんとうい）&アクセサリー作り

貫頭衣作り

自分の身長に合わせて切った布（大体2mくらい）を半分に折る。

2

布の中心に首を通す場所と形を決めてカット。横は脇下部分を左右ともに縫う。



絵の具で好きな模様を描く。貝殻やガラス玉、刺繍で装飾してもカワイイ！

ソーイング初心者でも簡単！
模様やデコで個性の見せどころ！

アクセサリー作り

好きな貝殻を選んで、内側からかなづちやキリで穴を開ける。

ポイント
小さな貝の穴を開けるには、「ハンドドリル」があると便利。砥石（といし）でもOK！

開けた穴をペンチで広げる。腕が通るようになったら、やすりで手に当たる部分を磨く。

勾玉にも挑戦！

鉛筆で形をとって荒い紙やすり（メッシュの80番）で大体の形を整え、目の細かい紙やすり（1000番くらい）で丁寧に仕上げる。

ポイント
鉛筆など細い棒に紙やすりを巻いて削ると内側のカーブがキレイに仕上がる。

腰や頭に巻く紐を選んで合わせる。腰紐は三つ編みにするとアクセントになるよ！

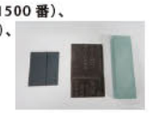
当日用意した道具はコチラ！

- 裁縫道具
- ミシン（あれば便利！）
- シーチング布
- 布用絵の具
- 貝殻（今回はアワビ、アサリ、ヒオウギガイ、シロガイ、シジミなどを使いました）

- 工具

左から
かなづち、やすり、ハンドドリル、ペンチ、キリ

左から
耐水性紙やすり（240～1500番）、メッシュのやすり（80番）、砥石



- 勾玉用の滑石（パワーストーンの店や美術教材店にあるよ）

メンバー

班長 井筒有紀美
柏田紀穂
田中圭子
鶴田純
鶴井希実子

古代MEMO

貫頭衣とは？

一枚布の中央に穴を開けて、そこに頭を通して着る古代の衣服。『魏志倭人伝』にも登場します。

貝輪とは？

アワビ貝で作りました

貝で作った腕輪。縄文時代には身近にある貝で作っていましたが、弥生時代になると南の島にしかない貝が重宝がられました。

部員のコメント

●こだわった点や工夫した点
女子ならではのもの。部員やマネージャーさんに、魚屋やすし屋から材料を調達してもらいました！

●苦労した点は？
班のメンバーと話し合い、時間を分けて貫頭衣もアクセサリーもどちらも製作体験できるようにしました。

●実施後の感想は？
盛り上がってもらえた。時間があっというまでした♡

●家族や友人などの反応はいかがでしたか？
母からは「楽しんでもらえてよかったね、皆さんが作ったのも是非見てみたい！」と言われました。

CHOCOLATE ZUKURI

1月

テーマ

女子的

「1350年前から君を見守っているよ」

チョコ作り

使うのは本物を正確に3Dプリンタで再現したこの3つの型！1350年前のイケメン「鬼瓦」、アートな古代のレンガ「塼(せん)」、細かい模様にそそられる「銅鏡」

ホットプレートで温めたお湯の中へプラスチックねんどを投入！

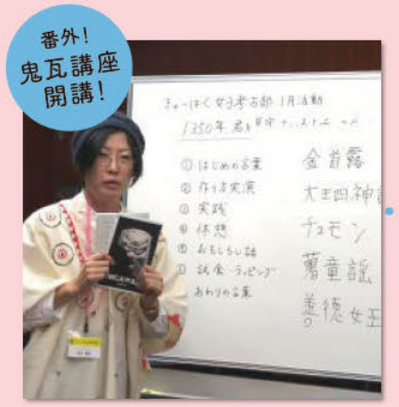
プラスチックねんどが柔らかくなったら、手ぬぐいで水気をしっかり取ってねんどが熱いうちに型に乗せて成形。

プラスチックねんどが冷えてかたくなったら型はできあがり！

チョコをテンパリング。鬼瓦を再現する場合は、ホワイトチョコ1枚に黒ごま20gがベストなバランス！

お好みのチョコを湯せんにかけて溶かし、プラスチックねんど型に流しこもう。

型ごと冷蔵庫で約1時間冷やす。固まったら、型から外してラッピング！



チョコが固まる間、部員による「鬼瓦の楽しみ方」のレクチャーを開設。

当日用意した道具はコチラ！

- ☑ お湯で柔らかくなるプラスチックねんど
- ☑ チョコレート（型1個に板チョコ1枚くらい）
- ☑ 黒ゴマ（石の質感を出すため）
- ☑ ボウル
- ☑ スプーン
- ☑ 小さな椀
- ☑ 手ぬぐい（ねんどの水気を取る。タオルは繊維が付くのでNG）

考古女子のバレンタインは古代チョコで！

●鬼瓦
一生と言わず、1350年見守ってほしい♡
ガッツリ本命には断然コチラ！

●銅鏡
身分が上の人から下の人に贈る銅鏡は
ちょっぴりMなあの人にぴったり！

●塼
アートにこだわりのある男子には
おしゃれな塼でさりげなくアピールを！

メンバー

班長 大内理加
林由枝子
新茉莉絵
南條瑠里
松生聖淑

古代MEMO

鬼瓦とは？

鬼面を表した瓦で魔よけの意味がある。型に使った九博所蔵の鬼瓦は約1350年前のもの。凛々しい顔立ちが魅力。

塼（せん）とは？

今でいうレンガ。今回の型に使ったのは、太宰府で出土した「文様塼」（九州歴史資料館蔵）。

銅鏡とは？

青銅製の鏡。姿見の他、まつりごとにも使われていた。今回は、前漢時代に中国で作られた「草葉文鏡」（九州国立博物館蔵）がモデル。

部員のコメント

●こだわった点や工夫した点
本物っぽさを追求しながらいかに女子であることを忘れずにいるか。その両立ですね！

●苦労した点は？
何度も話し合いを行い、試作をしながら進めました。役割分担ができたのが心強かったです。

●実施後の感想は？
リアルなチョコの色に喜んでもらえました。チョコを渡した時の顧問の笑顔も最高でした♡

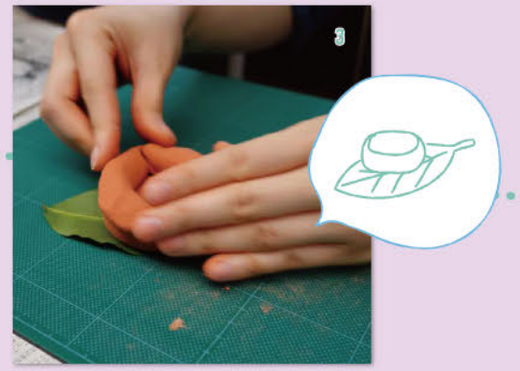
●家族や友人などの反応はいかがでしたか？
「仲間がいてよかったね」と。女子考古部に入る前は、古代の話ができる友達がいなかったので。

JANUARY

2月 テーマ 女子的土器作り

まずは自分が作りたいものをイメージ。写真などで具体的にイメージを固めよう。

水を少しずつ加えながら、手の平を使って耳たぶくらいの固さになるまで粘土をこねる。



下にくっつかないように葉っぱなどを敷いて、その上に土台を作る。最初はやや分厚く。

粘土をヒモのように細長く伸ばす。1本の粘土ヒモの太さは均一に！一度に何本か作っておくと太さがそろって使いやすい。

粘土ヒモを土台のふちに沿うように付ける。同じように何度も積み上げる。

一段積み上げるごとに、つなぎ目を消す。油断すると横に広がるので上に上にを意識して。

ポイント
上に行くにつれ少しずつ粘土ヒモの太さを細くするのがコツ！

内側に粘土ヒモを付けると、口がすぼまり、段々とツボ形ができてくる。

ある程度形ができたら、カーブを付けた粘土ヒモを積み上げて、完成！

土器づくりのコツ

●材料はどこで買える？

焼かずに土器の質感が再現できる「テラコッタ粘土」が便利。ホームセンターなどで販売している。

●どんな形を作る？

博物館に行ったり、本を見たりして、完成形のイメージを具体的に！
そして、完成後、本物の土器と比べてみると、今まで見えなかった所が見えてくる！？

●文様をつけてみよう！

粘土が乾く前に表面に麻ヒモなどを転がし、跡をつけてみよう。ヒモを2本合わせてひねり、より太くすると、さらにはっきりした文様になる。二枚貝のギザギザ部分や巻き貝の表面を使って型をつけるのもオススメ！

メンバー

班長 佐竹聖子
中村有仁子
渡邊裕子

副班長 末次水貴
橋本愛

古代MEMO

縄文土器とは？

1万数千年前から作られていた土器。縄目の文様が入るのが特徴ですが、九州地方では好まれず、簡素なものが多く作られました。

弥生土器とは？

弥生時代になると土器はよりシンプルになり、壺(つぼ)、甕(かめ)、高杯(たかつき)が基本形に。弥生時代中頃の福岡近辺では、土器を真っ赤に塗ることがトレンドに。

部員のコメント

●こだわった点や工夫した点

本気の土器作り。土器名人に事前に習いに行き、動画なども準備しました。

●苦労した点は？

活動内容を決めるのに一番悩みました。皆さんの自由な作品を見て、これでよかったとホッと安心。

●実施後の感想は？

イメージを形にする難しさに直面しつつも『土器作りにハマりそう！』と楽しんで頂けました。

●家族や友人などの反応はいかがでしたか？

友人に見せたら、「実際に作ると、土器というより芸術作品に見えるね」と言われました♪

番外編

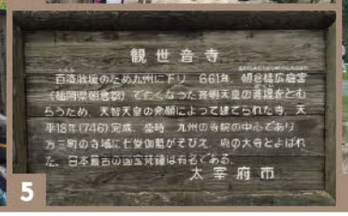
DAZAIFU MEGURI

きゅーはくの地元　太宰府の史跡めぐり

女子考古部の番外編として、きゅーはく周辺の遺跡を巡るツアーを開催！今回は、小嶋副顧問といっしょに、プチ登山を楽しみつつ、意外に知らなかった太宰府のことを学んで、大満足！な1日でした。

今回の案内人　副顧問　小嶋　篤

考古学者らしく、地図を片手に地形を意識しながら探索しました。山城（やまじろ）を攻めるのがいかに大変なことか、身をもって体感していただけたかと思います。



女子考古部、山城（やまじろ）を駆ける！ 太宰府周辺おさらいツアー

今回は、大宰府政庁跡に集合。
学校院跡～観世音寺～岩屋城跡～
大野城 土塁～焼米ヶ原～
太宰府口城門跡のルート。

1 大宰府政庁跡に集合。まずは大宰府展示館で四王寺山の地図を入手して出発。

2・3 学校院跡（役人の学校）で出土した「文様塼（せん）」について学ぶ。太宰府天満宮参道などで見かけるタイルは「文様塼」がモデル。

4～6 観世音寺で国宝の梵鐘（日本最古の梵鐘の一つ）を眺める。

7～9 戦国時代の山城・岩屋城跡で太宰府の町を見下ろし一休み。城主の墓にもお参り。

10 四王寺山山頂で一三五〇年前に造られた土塁をテクテク。

11 焼米ヶ原で炭化米を探す。

12・13 太宰府口城門跡を見学。

14・15 ちょっと寄り道しつつ下山。

今回訪れたのは…

- 大宰府展示館
  大宰府史跡の発掘調査で見つかった遺構（みぞ）の一部が見られる。
  福岡県太宰府市観世音寺 4-6-1
- 大宰府政庁跡
  九州を統括した役所の跡。
  福岡県太宰府市観世音寺 4-6
- 学校院跡
  大宰府政庁の役人の学校跡。
- 観世音寺
  国指定史跡。8世紀に作られる。国宝の梵鐘は今でも現役。
  福岡県太宰府市観世音寺 5-6-1
- 岩屋城跡（じょうじょう）
  戦国時代の山城跡。近くには城主高橋（たかはし）紹運の墓もある。
- 大野城跡
  大宰府を守るために築いた古代山城。
  ・土塁
  四王寺山の山頂を一周する土の城壁。
  ・焼米ヶ原
  倉庫跡。炭化米が発見された。
  ・太宰府口城門跡
  土塁に守られた山城に入るための門跡。

今回の感想

1日のツアーといっても、史跡だらけの太宰府は見所も多く、その分歩く距離も長くなりました。特に四王寺山は全員息も絶え絶えに。「簡単に登れる山って聞いたのに、だまされた！」との声も。

いい汗かいた～！

貫頭衣（かんとうい）コレクション

おしゃれ大好きな女子考古部の面々が
古代人の貫頭衣を大胆アレンジしちゃいました！
弥生時代はもちろん、現代でも視線集中の
ニュー貫頭衣をぜひご覧あれ！

1 ポップな北欧テイスト

ドットは前と後ろで
色を変えています。

大内 理加

2 わらび手（て）文が好き♡

胸元についた２枚の
貝がポイントです！

橋本 愛

3 古墳ア・ラ・モード

古墳時代に流行した
直弧文（ちょっこもん）がアクセント！

松生 聖淑

4 縄文人

毛皮を羽織って狩猟感を
出しました！

中村 有仁子

5 土器の波模様貫頭衣

素朴でラフなデザインを
目指しました！

田川 麻衣

6 古墳に吹く爽やかな風

ポイントは、チブサン
古墳の円文・三角文！

前野 りりえ

7 女王様に仕える侍女系古代人

肩に太陽の模様を
入れてます

新 茉莉絵

8 やっぱり、赤！

天然石ビーズと
両サイドの縫い
目がこだわり！

渡邉 裕子

9 お買いものへGO！

王塚古墳の装飾を
イメージしました！

井筒 有紀美

10 この春はミニで決める！

両サイドのステッチと
珊瑚に注目です！

佐竹 聖子

11 土器のひび割れ

ALL 刺繍で仕上げました♪

今橋 美紅

12 シンプルイズ ベスト

古代に忠実に、
布の素材感を全
面に出してます。

酒村 ゆずみ

みずら風ヘアスタイルの作り方

古墳時代の成人男性の
ヘアスタイルに挑戦！

1.

髪を左右に分ける。

2.

耳の前で結んで、
下に輪を作る。

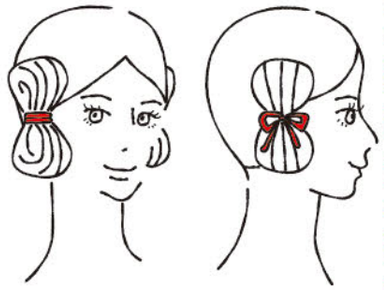
3.

残りの髪で
上の輪を作る。

4.

余った髪は下の
輪の中に押し込む。

5.完成！



結った部分の上から紐を結ぶと
さらにオシャレ！

私と考古学

9ヶ月に渡る部活動に全力で取り組んだ
古代ラブな女子考古部員に聞きました！
「あなたにとっての考古学とは？」

自由な発想でモノを見る時間。色んな可能性にワクワクします！（新　茉莉絵）

動いてみないと分からない世界！歩いて体験してより楽しくなる！（小柳綾夏）

知れば知るほどわからない面白さ。（松生まさよ）

今に続くまったく違う世界への探検。人の可能性を知る手がかり。（平井つぶらか）

見て知って感動を味わうものだと思います。どれも面白いです！（田川麻衣）

人類の成長を追っていき、それを糧に自分自身も成長するもの。（橋本愛）

有給を取ってでも学びたい！わくわくする手作りのくらし。（今橋美紅）

古代人の創造力と現代人の想像力を感じられるところ。（鶴田純）

縄文土器 弥生土器 どっちが好き？ どっちもドキ。（中村有仁子）

貴重な体験楽しかったです…ありがとうございました…！（南條瑠里）

子供の頃大好きで読んでいた冒険物、そこからの付き合いです。（末次水貴）

貫頭衣などのモノづくりで無心になれて、たのしかったです♡（前野りえ）

人類の美の萌芽を知る手段。土器のデザインなど興味深かったです。（田中圭子）

今と昔をつなぐもので、学びの手掛かり。（平井すみれ）

部員より楽しんじゃいました！
どんぐりの見分け方がわかって、
サバイバル能力が上がりました〜！

きゅーはく女子考古部 マネージャー
西島亜木子
山下久美子
鮫島由佳

行って、見て、作って、食べて、体感するもの！（井筒有紀美）

答えがあるようで、ない。自由に想い、ロマンを感じることができる♡（中村麻衣子）

「温故知新」という言葉を改めて考えるいい機会になりました！（酒村ゆずみ）

古代に暮らしていた私を探しているような気になります。（大内理加）

むかしがあるから、いまじぶんがいきている。（いはらわか）

子どもの和花へと繋がっているもの。（猪原恵美）

未知なる体験！（大嶌洋子）

〝楽しい出会いがある学び〟です(^.^)（平井さくら）

全てがあって、今がある。（佐竹聖子）

これまでは「思いを馳せるもの」、今は「体験し楽しむもの」。（渡邊裕子）

昔の誰かの思いや祈りを感じられるもの。（加藤弥生）

文系であり理系である。石室内で私の思考は数千年の過去へタイムトリップ。（種田雅矢）

今も昔も人って変わらないんだなと実感。（林田枝子）

はるかなる時空への旅。（大畠祐子）

作って学ぼう！

古代食レシピ

古代の食について知りたいなら、実際に味わってみるのが一番！
そこで、きゅーはく女子考古部が実際に作ったレシピをご紹介します！
意外とグルメ（!?）な古代人の食生活をぜひ体感してみて。

1. 縄文クッキー

クッキーという名称ですが、おやきみたいなもの。調味料は何も入れないので、素材の味が決め手。はちみつなどをかけても意外に合います。

材料（直径4cm×10コ）

- どんぐり粉……100g
- 山芋（すりおろし）……50g
- ひき肉……50g
- くるみ……10g
- 卵……1個

● 作り方

1, すべての材料をねばりがでるまでよく混ぜ合わせる。
2, 約4cm位に平たく丸める。
3, フライパンなどで両面を焼く。

MEMO
どんぐり粉には大粒のマテバシイがオススメ。炒って熟いうちにフードプロセッサーで粉にしましょう。

2. 太古菜（たいこな）スープ

太古の昔から利用されていた食材でつくる、あたたかいスープ。古代人もこんなスープを飲んでいたかも!?

材料（2人分）

- 大根……60g
- せり……適量
- 里芋……80g（1個）
- 鶏肉（モモ）……30g
- 水（だし）……400g
- 塩、酒……少々

● 作り方

1, 具材を食べやすい大きさに切る。
2, 鍋に具材と水（だし）を入れ火が通るまで煮る。アクは適宜とる。
3, 塩、酒で味をととのえる。

MEMO
世界最古の野菜の一つと言われている「大根」や日本原産の野菜「せり」など野菜たっぷり！

3. 古代米ごはん

黒、赤、緑、ピンク、古代米はカラフル！うるち米に比べ、アントシアニン・タンニン・カルシウム・ミネラル等を多く含むもち米です。

材料

- 白米……2合
- 古代米……大さじ1～2杯

● 作り方

1, 白米と古代米を合わせて米を研ぎ、鍋に入れてそのまま1時間おいて浸水させる。
2, お鍋で炊く
沸騰するまで強火→沸騰後中火5分→弱火15分→焼きしめ・強火30秒→蒸らし10～15分で完成。

MEMO
赤米や黒米などの古代米は、道の駅やお米屋さんなどで購入できます。探してみてね。

ドキドキ 恋する考古学♡

遺跡編

1位 王塚古墳（詳しくはP.4へ）

6世紀中頃に作られた前方後円墳。
もともと好きな古墳で挙げている人も多かったのですが、9月の活動で行ってからファンが急増。アートな装飾壁画はシビれます！

2位 大宰府政庁跡（詳しくはP.15へ）

きゅーはく周辺の遺跡もランクイン。イケメン鬼瓦（P12）も大宰府政庁の屋根で睨みをきかせていたそう。

3位 チブサン古墳

熊本県山鹿市にある装飾古墳。その形から「乳の神様」と信仰されているそう。女子的には要チェック！

きゅーはくで会える 名品編

1位 鬼瓦　奈良時代　8世紀

大宰府政庁跡の北のほうの畑から偶然発見された鬼瓦は古代大宰府のシンボル的存在。青みを帯びた灰色のヒミツは、型取りした土を密閉した窯で高温焼成しているから。

2位 埴輪　馬　古墳時代　5～6世紀

かわいい馬形の埴輪。馬具などの装飾もよく表現されているので、観察してみよう！

3位 獣帯鏡　古墳時代　6世紀

鏡の内側に帯状の文様があり、そこに獣の文様が繰り返しデザインされているので獣帯鏡。

※展示されていない場合もあります。

女子考古部のメンバーのこと少しだけ教えちゃいます

♥好きな動物

1位　猫
2位　犬
3位　鳥類

猫がダントツ1位！猫と古墳、形が似ているのかも？

♥部員の星座

1位　水瓶座
2位　牡羊座・蟹座
3位　山羊座・乙女座・魚座

寒い時期と梅雨時生まれが多いのはなぜ…。

♥骨フェチ

「生物としての骨ではなく、発掘された遺物としての骨が好き！」一番好きな骨は「尺骨」だとか。

♥意外とアウトドア派

山登りやマラソン、中には100キロウォークに挑戦したつわものも。

私のLOVE IT♥

女子考古部がときめいた遺跡と名品を直撃！
あなたもきっと恋に落ちるハズ。

編集後記

例えば、最初に縄文土器に縄目の模様を入れたのはどんな人でしょう？　きっと古代人の中でも、好奇心旺盛で今を楽しむ事ができる人、そう、多分こんな人達。
女子考古部の皆さんに会う度にそんな考えが浮かびます。
遺跡の向こうに、古代の暮らしを想って胸を焦がす、ちょっとやっかいな、だけどチャーミングな考古女子達。この輪に参加する事ができて、本当に嬉しく思います。
この冊子には、そんな女子考古部が体当たりで挑んだ活動を収めています。活動を通して感じた考古学の楽しさを少しでもお伝えできればと、初心者でも気軽に試せるようなネタを入れています。この一冊が新たな考古ファンを発掘するきっかけになれば幸いです。
最後になりましたが、ずっと活動を支えてくださった岸本顧問やマネージャーさん、九博スタッフの皆様、デザイナーの川村さん、本当に本当にありがとうございました。

（大内）

女子考古部冊子制作委員会
冊子編集長　大内理加
女子考古部マネージャー　西島亜木子
山下久美子
鮫島由佳
デザイン・イラスト　川村晃子
発行　九州国立博物館